

# ID LETTER

2022年3月期第2四半期 決算のご報告

2021. 4. 1 ~ 2021. 9. 30



# トップメッセージ

## DX戦略を強化し、 さらなる成長を目指します。

代表取締役社長

船越真樹



### 2022年3月期第2四半期の業績

前期にグループ入りした子会社の寄与や、システム運営管理が堅調に推移したことなどにより、売上高は133億40百万円となりました。また、当社が注力しているDX<sup>\*1</sup>関連売上高については56億29百万円と順調に伸びています。

収益面においては、前期に子会社3社を取得したことによるのれん償却費75百万円の増加や、ニューノーマル適応プロジェクト<sup>\*2</sup>に係る費用の計上等があったものの、売上の増加にともなう利益の増加があり、営業利益は7億4百万円となりました。

また、9月30日を基準日とする中間配当は、1株当たり実質5円増配した20円となりました。

<sup>\*1</sup> 既存のサービスソリューションに、RPAやAI、IoTなどの先端技術を組み合わせ、既存ビジネスを変革すること

<sup>\*2</sup> 山陰への本社機能の一部移管をはじめとする、with コロナを見据えた働き方改革を推進するプロジェクト

### 通期業績の見通し

期初計画通り、売上高300億円、営業利益19億円と予想しています。また、DX関連売上高は105億円を見込んでいます。

今後も引き続き、前期にグループ入りした3社とのシナジー効果の向上に注力するとともに、DX戦略の推進を加速してまいります。

### 「プライム市場」の選択について

株式会社東京証券取引所は市場の役割の明確化を目的とし、2022年4月に市場区分の変更を行う予定です。当社は上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果を受け、最上位のプライム市場を選択しました。

当社グループはこれからも持続的な成長と企業価値の向上に取り組み、株主の皆さまのご期待にお応えしてまいります。

# 2022年3月期 第2四半期業績※1

## 売上高

前年同期

121億74百万円

前期に買収した  
子会社3社の寄与

2022年3月期 第2四半期

133億40百万円



## 営業利益

前年同期

6億53百万円

売上の増加にとも  
なう利益の増加

2022年3月期 第2四半期

7億4百万円



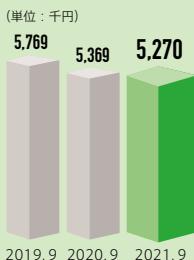
## 従業員1人当たり売上高※2

前年同期

536万9千円

2022年3月期 第2四半期

527万0千円



## EBITDA※3

前年同期

8億71百万円

2022年3月期 第2四半期

10億9百万円



※1 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、対前期増減率の記載は省略しています。

※2 2019.9、2021.9は連結売上高を連結従業員数で除して算出していますが、2020.9は期中に買収した子会社2社の売上高、ならびに従業員数を除いて算出しています。

※3 EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

# ID Group Topics

6月～10月

## 6月

1日 サステナビリティ課題への取組みの強化に向けて、「サステナビリティ委員会」を新設

21日 **ID** クラウド技術者育成プログラム「ID-Cross クラウドトレーニングAWS編」の提供を開始

28日 「SDGs 日本を代表する500社」として週刊東洋経済に掲載

## 7月

1日 普通株式1株につき1.5株の株式分割を実施

5日 **ID** お客様のPC運用管理業務を代行する「ID-Cross PC管理サービス」の提供を開始

## 8月

1日 **ID** お客様のご要望にお応えし、遠隔作業支援システム「IDEye」に複数人同時接続などの機能を拡充、ならびに海外での利用に対応を開始

3日 **ID武漢** 中国河南省で発生した洪水被害に対し、医療物資と緊急支援物資を寄付

5日 **ID** セキュリティサービスの強化に向けてSecurity Scorecard社と協業を開始

24日 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)コンソーシアム※に参画

## 10月

28日 当社連結子会社間の吸収合併に関するお知らせ

29日 新市場区分「プライム市場」選択に関するお知らせ

※企業や金融機関等が一体となり、気候変動問題に対する企業の取組みの効果的な情報開示と、開示情報を金融機関等の適切な投資判断につなげるための施策について議論することを目的として設立された組織

前回(2021年3月期通期)の株主通信では、IDグループのDX戦略の概要をご説明しました。今回の特集では、当社が現在展開するDXビジネスの具体的な事例を、事業活動を通じた社会課題の解決に焦点を当ててご紹介します。

DX特集第1弾は  
こちら→



## ID × DX

多種多様な業界・顧客に対し、  
幅広いDXビジネスを展開

### 環境負荷の低減

学校向け通信教育システムをクラウド上に構築。サーバがデータセンターに集約されて、効率的な管理が可能となり電力・CO<sub>2</sub>の削減につながりました。



クラウド



セキュリティ・基盤



遠隔支援・高度開発



コンサル・研修

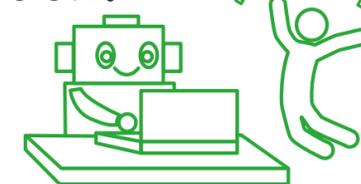


自動化・効率化



### 労働力不足の解消

通信販売企業に対して事務作業を自動化するRPA※製品を提供。従業員の皆さまを単純作業から解放しました。



※ デスクワーク等の定型作業を自動化するソフトウェア  
Robotic Process Automationの略

### サイバー攻撃への対策

病棟の電源管理システムに対して脆弱性検査を実施。病院内のセキュリティの安全を確保しました。



### 地域の活性化

地方拠点からリモートでお客さまのシステム運用監視をサポート。地域における雇用機会の創出に貢献します。



### 社会基盤の安定化

エネルギー、物流関連企業におけるITガバナンスをコンサルティング。サービス品質の向上とトラブル抑制に貢献しています。



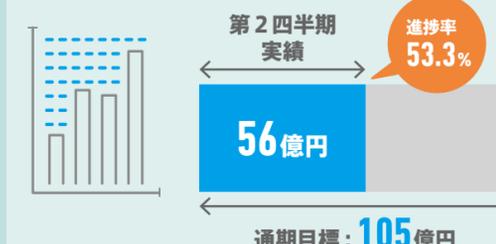
## DX戦略担当者より



ストラテジーマネジャー DX戦略副担当  
上世 貴仁

私たちは、クラウド化やリモート環境の整備、業務の自動化といったDXビジネスの展開を通じて、労働人口の減少や地域格差、環境問題といった社会課題の解決に貢献しています。今後は、クラウドの導入から運用までを請け負う「ID-Cross」をはじめとする高品質なサービスを、大手顧客だけでなく、IT人材の不足に苦しむ中小企業に提供し、社会全体を支えていきます。

### 2022年3月期 DX関連売上高



# 会社情報

(2021年9月30日現在)

商号 株式会社 I Dホールディングス  
I D Holdings Corporation ( I D H D )  
本社所在地 〒102-0076  
東京都千代田区五番町12番地1 番町会館  
TEL.03-3262-5177(代表)  
FAX.03-3264-7145  
創立 1969年10月20日  
資本金 5億9,234万円  
連結従業員数 2,531名

# 役員

(2021年9月30日現在)

代表取締役社長	船越 真樹
代表取締役副社長	山川 利雄
取締役兼業務担当執行役員	山内 佳代
取締役	中村 あや
取締役	西川 理恵子
取締役	吉田 尚正
常勤監査役	小池 昭彦
監査役	岡崎 正憲
監査役	渡辺 尚生
監査役	酒井 康夫
業務担当執行役員	七尾 静也
業務担当執行役員	土谷 明
業務担当執行役員	高橋 かおり
業務担当執行役員	坂本 康
業務担当執行役員	木村 由美子
業務担当執行役員	樊 娜

※取締役 中村 あや、西川 理恵子、吉田 尚正は、社外取締役です。

※監査役 岡崎 正憲、渡辺 尚生、酒井 康夫は、社外監査役です。

# 国内・海外ネットワーク

(2021年9月30日現在)



## 国内拠点

### 株式会社インフォメーション・ディベロプメント( I D )

▶ 資本金：400百万円 ▶ I D H D 出資比率：100.0%

### 株式会社 I D データセンターマネジメント( D C M )

▶ 資本金：60百万円 ▶ I D H D 出資比率：100.0%

### 株式会社 D X コンサルティング( D X )

▶ 資本金：50百万円 ▶ I D H D 出資比率：100.0%

### 株式会社ブライド

▶ 資本金：40百万円 ▶ I D H D 出資比率：92.7%

### 株式会社 G I テクノス( G I T )

▶ 資本金：45百万円 ▶ I D H D 出資比率：100.0%

### 株式会社システムデザイン( S D )

▶ 資本金：99百万円 ▶ I D H D 出資比率：100.0%

### 愛ファクトリー株式会社 [特例子会社]

▶ 資本金：50百万円 ▶ I D H D 出資比率：98.0%

▶ D C M 出資比率：2.0%

## 海外拠点

### 艾迪系統開発(武漢)有限公司( I D 武漢)

▶ 資本金：110万米ドル ▶ I D H D 出資比率：100.0%

### INFORMATION DEVELOPMENT SINGAPORE PTE. LTD. ( I D シンガポール)

▶ 資本金：573万シンガポールドル ▶ I D H D 出資比率：100.0%

### INFORMATION DEVELOPMENT AMERICA INC. ( I D アメリカ)

▶ 資本金：550万米ドル ▶ I D H D 出資比率：100.0%

### IDM INFORMATION DEVELOPMENT MYANMAR CO., LTD. ( I D ミャンマー)

▶ 資本金：127万米ドル ▶ I D H D 出資比率：83.9%

▶ I D シンガポール出資比率：16.1%

### INNOVA SOFTWARE Co., Ltd. [関連会社(タイ)]

▶ 資本金：2,000万バーツ ▶ S D 出資比率：20.0%

## 株式情報

(2021年9月30日現在)

発行可能株式総数.....	54,000,000株
発行済株式総数.....	18,066,453株
株主総数.....	5,558名

## 大株主の状況

(2021年9月30日現在)

株主名	持株比率(%)※
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9.11
株式会社エイ・ケイ	8.91
I D従業員持株会	6.10
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4.82
PERSHING-DIV. OF DLJ SECS. CORP.	4.44
みずほ信託銀行株式会社	3.61
みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社	3.44
T D Cソフト株式会社	2.42
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	2.08
船越 朱美	1.69

※ 持株比率は、自己株式(504千株)を発行済株式総数から控除して算出しています。

## 株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月	
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当	3月31日
	中間配当	9月30日
公告の方法	当社ウェブサイト上の電子公告により行います。 <a href="https://www.idnet-hd.co.jp">https://www.idnet-hd.co.jp</a> ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
株主名簿管理人 同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	
郵送物送付 および お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324(フリーダイヤル)	
単元株式数	100株	
証券コード	4709(東京証券取引所市場第一部)	

## 株式会社 IDホールディングス



〒102-0076 東京都千代田区五番町12番地1 番町会館  
I R お問い合わせ先: コーポレート戦略部 TEL. 03-3262-5177  
<https://www.idnet-hd.co.jp> ※左記QRコードからアクセスができます。